

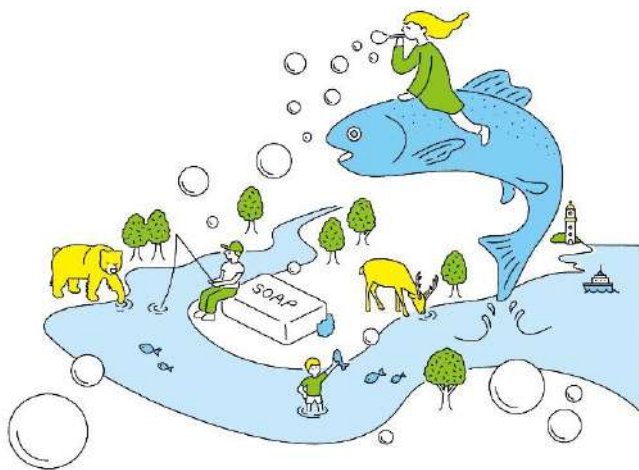
10のThink & Act

- 1 食の安全にこだわります。
- 2 健康な食べ方を大切にします。
- 3 国内自給力アップをめざします。
- 4 遺伝子組み換え作物を認めません。
- 5 有害物質ゼロをめざします。
- 6 自然資源を大切に使います。
- 7 ごみの削減に取り組みます。
- 8 原発のない社会をめざします。
- 9 おたがいにたすけあう社会をめざします。
- 10 自分たちで決めて、自分たちで実行します。

たとえ、ひとりの手は小さくても。
想いを分かちあう仲間がいれば、何かが生まれる、何かが動く。
安心できる食の国内生産を持続可能なものに。
再生可能エネルギーをもっと身近なものに。
誰ひとり取り残さない社会を実現するために。
意志ある生産者と消費者が手を組み、
循環と共生の輪を広げていく。地域や世代をこえ、
未来のいのちへ続いていく。
新しい仕組みづくり、私たちと一緒に始めませんか。



水を守るせっけん運動



せっけん運動ネットワークに参加

「せっけん運動ネットワーク」は、洗剤による水環境の悪化が社会問題化する中、1981年に「協同組合石けん運動連絡会(協石連)」として設立したのが始まりです。地域生協、大学生協、NPO、市民団体などおおぜいが参加し、せっけんを入口として環境問題全般に広く関心を持ち、相互交流をはかり、地域におけるせっけん運動の発展をめざしています。

毎年5月頃、各地の参加団体が持ち回りで、全国集会「シャボン玉フォーラム」を主催しています。活動の成果や課題についての情報交換や、水環境保全を中心とした環境問題をテーマに、開催地の特色を生かした講演会や分科会を企画しています。2023年は秋に生活協同組合あいこーぷみやぎが主催者となります。

生活クラブの「せっけん運動」

「合成洗剤の使用を止めて、せっけんを使いましょう」そして「人体への影響、河川や海などの自然環境をまもりましょう」という運動です。このせっけん運動をとおして、「私たちは環境汚染の被害者でもあると同時に、加害者でもある」ことに気づき、自分自身のライフスタイルを少しずつ変えていこう、そんな活動でもあります。

生活クラブ生協都市生活では6～7月をシャボン玉月間としています。各支部やせっけんクラブ※がせっけん学習会を開催し、せっけんと合成洗剤の違いやせっけんの良さを伝え、利用をすすめています。ポスター掲示をしてせっけん利用を広く地域へ呼びかけし、各自治体へもはたらきかけ、首長メッセージを取得しています。全国の首長メッセージは「せっけん運動ネットワーク」のウェブサイトに掲載しています。

毎年1～3月に、シャボン玉月間ポスターのキャッチコピーとポスター原画を募集していますので、たくさんの応募をお待ちしています。

※せっけんクラブとは、せっけんが大好きなメンバーの集まりで、組合員へせっけんなどの良さや使いこなしを紹介する活動をしています。

つながるローカルSDGs動画がQRコードから視聴可能ですので、ぜひご覧ください。

つながるローカルSDGs



2Pに続く



公式ウェブサイト

機関紙「都市生活」カラー版既発行分はこちらで。



Facebook ページ



Instagram

= サステイナブルなせっけん =



せっけんの特徴

せっけんは、天然の植物や動物の油脂とアルカリだけでつくられるシンプルな洗剤です。古代ローマ時代、神様のささげものの焼いた羊の油と灰が混じってできたものが、せっけんの始まりといわれていて、技術は進歩していきますが、今でも原料や製法のおおもとは変わりません。

特徴は、水でうすまるとすぐに洗浄力(界面活性作用)を失い、短時間で分解されることです。だから、肌への刺激が少なく、環境にあまり負荷をかけません。排水が川などに流れ出ると、水中のカルシウムと結合してせっけんカス(カルシウムせっけん)となり、それを小魚が食べ、微生物が分解して、自然に還っていきます。



せっけんの原料を パーム油から廃食用油へ

せっけんの主原料となるパーム油はアブラヤシからとれる植物油で、世界的な需要の高まりを背景に、森林破壊や温室効果ガスの排出、労働者の人権問題など多くの課題が指摘されています。生活クラブでは環境や資源をより大切にしたいものにと、生活クラブのせっけん類を生産するエステー石鹼(株)と相談を重ねてきました。パーム油の課題にも取り組もうと、昨年7月から消費材の「洗濯用粒状せっけん」「洗濯用無添加せっけん(針状)」「洗濯槽用クリーナー」の3品を、パーム油由来の脂肪酸の7割を廃食用油から精製したりサイクル脂肪酸に変更しました。精製された脂肪酸を使用することで、変わらない洗浄力を維持し、従来品に比べ少し黄色っぽいですが、洗濯物への色移りはありません。原料由来のにおいては多少感じられますが、脂肪酸に精製することで最小限に抑えています。さらに、パッケージをコンパクトにしプラスチック使用量を削減し、パッケージの一部にリサイクルPETを使用しました。

日々使うせっけんがリサイクル原料で作られたという『身近な形のリサイクル』の意義をぜひ組合員のみなさんに知ってほしいです。



リニューアルした3品



牛乳でまぜまぜデザート 苺と桃

180g×2(いちご1、白桃1) 380円(税込410円)



わが家で牛乳を飲むのは私だけで、家族はたまに飲む程度。嫌いなわけじゃないと思いますが、お茶の方がいいと言われる。でも牛乳って、栄養バランスを考え抜かれた小学校の給食で結構重要な存在のように、日々の献立で足りない栄養素を補うためにもぜひ飲んでほしいんですよね。そんな時にこの『まぜまぜデザート』が活躍します。「牛乳飲む?」「今、いい!」「やっぱりねー」「まぜまぜデザート食べる?」「食べるっ!」(思うツボ…)。1袋で結構な量が出来上がるのですが、贅沢におとな

2人で食べきっちゃいます。市販品でよく似たものが売られているので「そっちでいいやん、いろんな味あるし。」と思うかもしれませんが、裏面の原材料表示を見比べてみてください。こちらは苺も桃も国産! 着色料無し! 食品添加物は生活クラブの独自基準で使ってよいと決められたもののみ! ちゃんと美味しく、そして安心安全。さすが生活クラブな逸品です。(草野睦美)



彩生舎 生産者交流会

「オーガニックアロマスプレー作り」開催

昨年からせっけんクラブメンバーが生産者交流会を企画していましたが、コロナ禍で開催が難しく延期になり、今回待望の開催となりました。

2/25(土)10時～12時 @神戸市立中央区文化センター
参加者：大人14名(うちゲスト1名) 子ども7名 運営側5名

会場は準備の時からとてもいい香りに包まれていて、来られた参加者は自然と微笑みがこぼれました。

はじめに、せっけんクラブメンバーからせっけんと合成洗剤の違いをパネルシアターで伝え、水を入れたびんを使って溶け比べなど簡単な実験で、分かりやすくせっけんの良さを伝えました。

次に、(株)彩生舎の奥村祐樹さんから、アロマセラピーとは植物から抽出した精油(エッセンシャルオイル)を使って心身の調和を図ることを目的とした代替療法の一つで、植物が元来もっている香りにより様々な作用があること、利用法、使用上の注意などを伺いました。参加者は、数十種類の見本の香りがかいで、お気に入りを探した後、好みの香りのアロマスプレーを作りました。どれもいい香りで好みをひとつに絞るのは難しく、希望者にはもう1本追加で作ることができ大満足でした。

アロマセラピーの主な利用法を教わったので、リラックス、リフレッシュしたい時など暮らしの中に上手に取り入れたいですね。同時に、体にも環境にもやさしいせっけんを利用していきます(せっけんクラブ 遠嶋 康代)



(株)彩生舎の奥村祐樹さん



Argan nuts



Almond nuts



せっけんクラブによる実験

参加者の感想

- 良い香りの中、好みの精油で簡単に作ることができて楽しかった。
- カタログでは匂いは分からないが、色々な香りをかけて買うときの参考になる。
- 自己流で使っていたので正しい使い方を教えて頂けてよかった。
- せっけんの話は、知らないこともあったので聞くことができてよかった。こどもにも分かりやすく教えていただきありがとうございました。いいんだろうなというイメージで止まっていたが、使ってみようという一歩になった。

せっけんレシピ



(左)オーガニックスイートアーモンドオイル 50ml

(右)オーガニックアルガンオイル 50ml

(株)彩生舎の化粧用油 キャリアオイル

どちらも、マッサージ、ベビートリートメント、スキンケア、ネイルケア、ヘアケアに使うことができます。塗布後は日光には当たらない方が良いので、夜のお手入れ時がいいですね。かさついたお肌や爪に直接塗り込んだり、ドライヤー後のパサついた髪の毛にもいいです。これ1つで身体のどこにでも使えるのでとても便利です。50ミリリットルとサイズもちょうど良く、半年で1本を使い切ります。

キャリアオイルなのでオイル自体に香りはほとんどなく、偏頭痛持ちの私には最適です。アロマオイルを混ぜてマッサージオイルにも使えます。むしろこちらの方がメジャーな使い方なのかもしれませんが、なかなかマッサージをする時間が取れないですね。私はほぼ自分のスキンケアに利用しています。(せっけんクラブ 長原寛子)
※使用上の注意をよく読んでご使用ください。

地域イベントに出店しています！

2023年度も組合員と職員が連携し、仲間作りをすすめます。地域に生活クラブの名前を広めるため地域のイベントに参加し、生活クラブの活動や消費材を紹介して、仲間作りに取り組んでいます。

アースデイ神戸2023 「感じる・つながる・変えられる」

アースデイ神戸は2007年に始まり、毎年神戸市中央区のみなのもり公園で開催されています。環境・国際協力・食育・子育て・スローライフなどをテーマに、ワークショップや展示、お買物などを通じて、これからの暮らしを考えるヒントを提供するイベント。地球や未来のことを考えることを提案しています。

今年もボランティアスタッフを募集し、5月4日(木)、5日(金)に紙コップロケット工作と消費材のジュース販売、電気アンケートで出展しました。

紙コップロケット工作が好評

例年より出展が少ないように思いましたが、紙コップロケット工作はとても好評。小さなお子さんでも気軽に作ることができるので、大勢の参加があり、ママパパも一緒に楽しんでもらえ、その合間に生活クラブを紹介することができ、2日で14人の加入があり、新しい仲間が増えました。

初めて参加したスタッフから「以前に生協祭あいたくて子どもと一緒に野菜販売を手伝ったのが楽しかったので応募した」とか、終了後に「アースデイのお手伝いとても楽しかった」などと嬉しい感想がありました。



生活クラブでんきを知らせました

「あなたが電力会社を選ぶ時に重視したいことは何？」と、シールを貼って答えてもらうアンケートを実施して、原発に頼らない生活クラブでんきに取り組んでいる事を知らせることができました。

北神戸支部が主催で出展

4月22日(土)「春のママキラフェスタ2023 in しあわせの村」は、北神戸支部のクリエイターや組合員が中心となって企画し、コネコネせっけん工作とおして、生活クラブを知らせました。

＝ ＊ ＝ ＊ ＝ ＊ ＝

組合員と職員と一緒に仲間作りに取り組むことは生活クラブならでの活動です。スタッフも募集しています。一緒に、生活クラブを知らせ、仲間作りに取り組みましょう！

スタッフ専用 LINE 公式アカウントはこちらから。

友だち登録することでイベントスタッフ募集の案内が届きます。



100円のたすけあい

問合せ先：組織部(078-904-3260)中田

コーディネートの喜び

3月のエッコロレターでご紹介した「コーディネート」の仕組みはご覧いただけましたでしょうか？現在4名の組合員がコーディネートを担当していますが、依頼者を手助けしてくれるケア者が見つかるまでには様々なケースがあります。

近くにお住まいの方から電話をかけていきますが、1軒目で決まることもあれば10数人かけることも…。ケアが行われた後に提

3月 エッコロたすけあい制度利用状況

加入者	1,379 人	給付申請件数	21 件
給付金額	29,300 円	事務費	6,990 円

エッコロ講師登録 2 件

出された申請書で、「ずっと気になっていた荷物が片付きすっきりしました！」、「消費材の話に花が咲き、とても楽しい時間を過ごしました」などのお声を読むと、協力して下さったケア者さんに感謝すると共に、『つながりづくり』の一端を担えたことに小さな喜びを感じる私たちです。(コーディネーター 小椋やよい)

甲状腺検査活動を続けています

全国の生活クラブが検査活動に参加

甲状腺検査活動は、福島第一原子力発電所事故の被災地にある生活クラブふくしまからの要請を受け、福島の子どもたちと他の地域の子どもたちの甲状腺検査の比較を通じて、放射能による甲状腺への影響を明らかにすることを主な目的に、2012年冬季から始まりました。北は生活クラブ北海道をはじめとして23の単協が参加し、2021年度までに全体で6,232名の子どもたちが受診しています。

検査活動の継続が不可欠

福島県内全域で実施されている「県民健康調査(甲状腺検査)」では、専門家の治験(「100万人に1人」)をはるかに上回る252人の甲状腺がん(悪性および悪性疑い)が見つかっています。そこで生活クラブとしては、チヨルノービリ原発事故による小児甲状腺がんの発生率のピークが事故後10年目だった事実もふまえ、少なくとも2025年度まで検査活動を継続していくことを決めました。

ろっこう医療生協の支援

生活クラブ生協都市生活でもろっこう医療生協(本部：神戸市灘区水道筋)の協力を得て、活動開始の当初から参加をし、

これまでに延べ248名の子どもたちが受診しました。10年間欠かさずに参加してくれている子どももいます。公共交通機関を使って4人の乳幼児を連れて参加された組合員もいます。この活動にはある程度の規模の受診者数が必要となることから、生活クラブ生協都市生活としてもさらなる呼びかけを行っていきます。2023年度については年明けの2～3月に検査活動を行う予定です。



組合員のカンパが活動に貢献

甲状腺検査はエコー検査(超音波)による15分程度の痛みのない検査です。受診費用は生活クラブ連合会カンパから、自宅からろっこう医療生協の受診施設までの交通費は、都市生活組合員による東日本大震災の支援カンパから支給されます。子どもの年齢は1歳～20歳ぐらまで。対象にあてはまる方、ぜひ、この活動に参加してください。



再生可能エネルギーを中心とした生活クラブでんき、知っていますか？

生活クラブでんき(生活クラブエナジー)の設立は2014年。契機は、2011年3月に起きた東京電力福島第一原子力発電所の放射能漏れ事故でした。原子力発電は、一部の人々を危険にさらさないと維持できず、いったん事故が起これば甚大な被害を人と国土に及ぼすもの。このように危険な発電方法の上に成り立つ暮らしで本当に良いのか、エネルギーの選択について改めて考えた結果、生活クラブのでんき事業が、各単協や生産者などの出資により始まりました。それから8年。でんきの契約数は約18400件(2023年3月現在)。経営状況も安定しており、剰余金を利用組合員に還元できるまでになりました。

そこで、さらに多くの組合員に認知してもらえるよう、4月から新ブランディングがスタートしました。各単協の若い世代

の組合員が参加して、ブランディングチームを結成。自分たちの思いをデザイナーと共に形にしていきました。ブランディングカラーの青は、いつまでも穏やかな青い地球であるようにという思い、また電気のイメージ黄や赤ではなく、アースカラーが良いなどの意見が集まり決まりました。コンセントの向こう側にある生産者・発電・環境・地球、それらを想像しながら、よりよい社会をめざしていく生活クラブでんきを、みんなで利用しませんか？

8月までに契約いただくと、新ロゴグッズ(数量限定)と2000ポイントをプレゼントする「生活クラブでんき新ブランディングキャンペーン」を実施中。

生活クラブでんきについてはこちら⇒



東神戸 支部

今年も魅力的な企画を考案中！

こんにちは！交通の便が良い三宮を中心に活動している東神戸支部です。去年勤労会館から、新しい中央区文化センターに活動の拠点を移しました。駅から近いとても良い環境だと思っています。

2022年度つながれ！リレー生産者交流会では王隠堂農園とオンラインでつながり、他支部からも多数参加がありました。今年2月に(株)パラマウント・ワーカーズ・コープの「足と靴の学習会」も行いました。

東神戸支部はモニットやモアモニットが熱心で、支部ミーティングでのおすすめ消費材の紹介や活用法に質問が飛び交う事も多く、毎回予定時間をオーバーするのが嬉しい悩みです。今までは、クリエイターが学習した事を伝える時間を大切にしてきましたが、今年度はお友だちを誘って参加したい！と思う魅力的な企画を考案中です。クリエイターの1人がお花と料理の先生なので、フラワーリース作り・ブーケ作りやお料理教室を計画しています。地域のイベントに積極的に参加して仲間を増やしたり、生産者さんとの交流の場を設けたり、組合員との繋がりを作るのも大事な活動だと思っています。スタッフ一同頑張りますので、気軽に参加し、ご意見や提案をお聞かせ下さい。(東神戸支部クリエイター 湊 佐和)



王隠堂農園と生産者交流会。これ以外に自宅参加10名。



自らの足を出して、グーにして見せてくれる(株)パラマウント・ワーカーズ・コープの佐藤さん



王隠堂農園にちなんで、支部のいちねんの表紙はさるかに合戦。その心は、梅干しと柿。

今月の組合員

エコロ講師に登録しました

安田 真由美さん 東神戸支部 2014年1月加入

お友だちが生協祭あいたくてで出店したシフォンケーキのお店を手伝いに行き、生活クラブの良さを知り加入しました。買い物で市販品は毎度裏返して表示を確認していましたが、消費材は「安心・安全・新鮮」が魅力だと思っています。

消費材を買うだけだった私が、子育てひろばきらきらの子育てサポーターになり、モニットになり、今年からクリエイターで活動しています。年代や生活の違う方々との楽しい交流や、「なるほど」と思える発見も沢山あります。今回エコロ講師として「癒しのお花時間」と「料理教室」に登録しました。消費材を使ったお手軽メニューやお花でほっとしたひとときを感じてもらえたら嬉しいです。

大好きな消費材

= ほうれん草丸餃子 =
200g(8個) 397円(税込429円)



私は「ピンポン！」と配達員の方の訪問説明で生活クラブを知って入りました。調味料や練り物や加工食品、市販のものにはどうしても化学調味料が入ってしまうので、それをどうにかしたいというのが興味を持った理由でしたが…最初に配達員の方が、カタログをパラパラめくって見せてくれた際にチラッと目の端に映った「ほうれん草餃子」が、どうも気になったのが実は一番の動機だったかなと思います。

そしていざ注文して食べてみると…コレがまた笑っちゃうくらい美味しい。時々無性に食べたくなるので、冷凍庫に常にストックしてありますが、毎度、笑いが漏れます。普通の餃子よりも底面がカリッとして、このバランスが絶妙。しかも簡単調理！袋に書いてある通りに、水を入れて蓋して焼くだけ(笑)フライパンにひっつかない！フライ返しで簡単に剥がれて破けません。青臭さもなくて子どもたちも喜んで食べてます。

(東神戸支部モニット 里 美有)

徒然都市生活

自主的で活発な組合員活動

北神戸支部（元理事長） 山田 多美子さん

生活クラブ生協都市生活は1986年設立。今年で設立37年になります。今年度は設立当初から現在に至るまで、活動してきた仲間に「都市生活の今・昔」を語ってもらいます。

＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋

私が加入したころは班を作らないと加入できない時代でした。班の中から代表を決めて、定期的に班代表会という集まりが持たれていました。その後地区委員と名称を変え、その中から支部委員長、消費委員、生活文化委員を決めて、毎月本部委員会に出席していました。

支部委員長という名は堅苦しくてなり手がない、もっとなじみやすい名前ということで、支部委員長をリーダーに、各委員をサブリーダーとし、3人体制での活動体制としました。その後リーダーという名は、責任が重すぎるという声で、現在のクリエイター5人、自主的に活動するモニットに変更し20年ほどになります。

私は、食や水に関心があったので、消費・生活文化、支部委員長も経験しました。子どもや夫の話題ではなく、同じことに関心のある人の集まりは、やりがいがありました。本部委員会は、今のように試食品があるわけでもなく、お茶だけで、会場は西宮センターの2階で、板の間に座布団スタイル。午前、午後の会議は腰にきつかったです。

玉ねぎに病気が発生して、生産者から「一番弱い殺菌剤を一度使いたいがいいか」という相談があり、本部消費委員会で延々論議が続いたことがあります。一度殺菌剤を使うだけに、こんなに時間をかけて論議することに驚きでした。

食や環境など社会の問題点に関心を持ち、行動することはどの時代もとても大切なことと思います。生活クラブとして組合員活動が絶えないことを願います。



「国産鶏種はりま」キックオフ集会で(2005年)

民衆交易学習会で(2009年)



東神戸支部キッズクッキングで(2017年)

理事会報告

2022年度第11回理事会報告 2023.4.28.10:00~15:05 於:中央区文化センター
出席理事:17名(内オンライン出席1名)、出席監事:2名 オブザーバー1名
(組織部長陪席)

以下、報告承認事項(3項目省略)・協議決定事項(4項目省略)

1. エコロ審査会報告を受け、3月申請分21件中、21件の給付とエコロ講師登録1件を承認。エコロサークル2022年度活動報告書を回覧した。
2. 4月度生活クラブ関西連合会の会議報告を受け、内容を確認した。
3. 兵庫県生協連合会の総会代議員に濱田常任理事を登録(生活クラブ連合総会と同日)する。県連委員会・部会出席メンバーについて確認した。
4. 2022年度決算報告を承認し、剰余金処分案を決定した。理事会に先立って監事会による期末監査を受け、監査報告書を受領した。
5. 2023年度事業計画予算案を承認し確定した。
6. 第37回通常総代会の議案書について最終の検討を行い、全議案を確定し、議案書の印刷作成へ進める。
7. 第20期理事会体制の原案となる申し送り事項を決定した。(総代会後の第1回理事会による互選を拘束するものではない。提案原案の透明性確保の為)
8. 組織委員会からの「サステナブル フェス2023 甲子園浜を知らう!生き物観察&クリーンアップ大作戦」企画提案を承認した。
9. 環境委員会からの「せつけん運動カンパ」「でんき契約者のお茶会」企画提案を協議し、実施を決定した。

(会議報告)
連合理事会、各委員会の報告および各担当理事会の報告を共有した。
(事業報告)
3月度決算報告及び2022年度決算報告を確認した。



Q カタログのマークの意味を詳しく知りたいです。

A 食べるカタログの中にはいろんなマークが表示されています。野菜や果物の青果のコーナーにある「減/無」「無/無」などは化学合成農薬・化学肥料の使用など栽培に関する表示です。農林水産省「特別栽培農産物に係る表示ガイドライン」に準じた表記としてあります。加工品にある「NONGM」「GM要対策」は、遺伝子組み換え(GM)対策についての表示です。1997年1月に「遺伝子組み換え作物・食品は取り扱わないことを基本とする」「やむを得ず使用する場合は、情報を公開して取り組む」と決定しました。詳しくは毎週のカタログに掲載されていますのでそちらも併せてご覧ください。

みんなで飲もう！食べよう！！ 「牛乳応援プロジェクト」



「牛乳がピンチ！」「酪農危機」…テレビや新聞などで目にしたことはありませんか？
ウクライナ侵攻、気候危機、円安等による飼料価格や燃料費等の生産コストの暴騰、乳需要の低下や十分な乳価の値上げ等によって、酪農経営が深刻な状況に陥っています。
生活クラブの提携酪農家も例外ではありません。生活クラブでは、これまで生産者とともにつくってきた牛乳を今後も飲み続けるため、消費者として酪農家を直接支援する取組みをすすめています。

● 酪農応援緊急カンパ

2月～3月にかけてカンパを実施。生活クラブ生協都市生活で1,902,000円、生活クラブ全体で53,481,000円集まり、生産者に届けました。

● 牛乳応援基金

4月からは「2円で応援！未来を明るくミルクビジョン」キャンペーンとして、「牛乳応援基金」に取り組んでいます。牛乳1品目につき一律2円を共同購入価格にプラスし、提携酪農家に定期的に寄付をし、応援を継続しています。



● 政策提案

また、4月17日には酪農家への支援に向けた政策提案を農林水産大臣に提出。新生酪農株式会社や酪農家も参加し、窮状を直接伝えるとともに農林水産省の担当者と意見交換をしました。

政策提案の詳細は生活クラブ連合会サイト「活動ニュース」でごらんください。⇒



生活クラブでの牛乳の利用も、2019年度と比べると約9割程度に落ち込んでいます。今年度は都市生活でも「牛乳応援プロジェクト」のチームを結成し、2019年度と同じぐらいの利用をめざしていきます。ひとりでも多くの飲むチカラ、食べるチカラで、危機にある酪農を応援していきましょう！

職員こぼれ話

拡大課
中谷 健太

生活クラブ生協の職員が、日ごろの業務、身のまわりのできごとを通して見たもの、聞いたことをお伝えします。

「思うこと」

ふと思うと「40才、2児の父親」。
仲間づくりで問い合わせ先に訪問すると、年下の方が増えてきました。
子どもの話、世間話など子育て世代と「共感」する話をしている自分があるなんて。「歳を重ねたなあ」と思うのと、自分の「世界観が広がっているんだな」と感じています。
いろんな出逢いと経験を重ね、これからも探求心を忘れず、子どもと一緒にまだまだ成長していきたいと思えます(笑)

2023年4月号より
つながるローカルSDGs

久々(?)にじっくり機関紙を読みました。最近「SDGs」がファッション化しているというか、言えば素敵な響きといった風に軽々しく語られている気がしていたので、地に足がついてるというか、根拠があり既に様々な活動・取り組みがなされている生活クラブの姿勢にほっとしました。動画の紹介もQRコードがありすぐに確認でき、見て納得出来ました。QRがコードあってよかったです。(北神戸 のうとり)

編集雑感

企画の案内や組合員活動報告などをまとめた機関紙「お知らせ」を、5月発行号から企画案内だけまとめた「イベント案内」として一新しました。WEBフォームで参加を申し込みます。WEBが利用しにくい場合は、本部センターにお電話ください。(T)